

■EX シーン3

(状況…夢の中かどうかわからない不思議空間で膝枕する雪音)

(SE: 雪音の可愛い寝息 FI)

(位置…正面・近)

(演技…全体的に甘く、囁く感じで)

ん……んんっ……あっ……。

ご主人様……寝てらっしゃいますか……？

起きてらっしゃっても構いません。

今から……わがままをつぶやきますね……。

(SE: 頭を撫でる音)

(位置…右耳 密着 囁きで)

ご主人様……愛しています……。

いつも目で追ってしまいます。

(位置…正面・密着)

何気ない仕草や言葉で、ドキドキしていて、見つめてしまっている。

ご主人様に恋焦がれて、どれぐらいの年月が経ったでしょうか。

初めてお会いしてから、ずっと、雪音は目を離せなくなっています。

人一倍頑張られるところも、ひとりでしょい込もうとするとところも。

全部、全部、見ていました。

なんで傷つくようなことをしてしまうんだろうって、思っていましたけど……。

それはご主人様の強さ、なんですよね？

でも……たまには頼ってください。

(位置…左耳 密着)

(演技…囁きながら)

ひとりで頑張りすぎて、壊れてしまっっては、私、耐えられません。

ご主人様のおそばで、お力になりたいんです。

(SE: 頭をさらに撫でる音)

(位置…正面・密着)

こんな私にできることなんて限られています。
それでも……愛した人を支えたいと思うことは悪いことでしょうか？
悲しいことがあったら一緒に泣きましょう。
苦しいことがあったら分かち合って、共に進みましょう。
悩み事があれば、ふたりで考えていきましょう。
嬉しいことがあれば、笑い合って、幸せを二倍にしましょう。
どんなときだって、離れたりしません。
私は……雪音はご主人様の味方です。

(SE：手を握る音)

私がそうしたいからなんですよ？
決してメイドだからではありません。
氷風（ひかぜ）雪音として……あなたをお慕い申し上げています。
頼りない女で申し訳ありません。
それでも……ご主人様がひとりであらうしやるのは耐えられないんです。
だから、共に歩んでいただけないでしょうか？

(SE：頭を撫でる音)

ご主人様に全てを捧げたいんです。
恋なんていりません。
私は、愛がほしいのです。
自分のことだけではない、相手を思いやり、慈しみ、包み込む……。
愛を分かち合いたいです……。
ご主人様……ありがとうございます……。
私を妻にしてください。
私をこの子の母にしてください。
私に、愛を教えてください。
これ以上ない幸せです。
愛しています……言葉では表せないほどに。

(SE：頬を撫でる音)

こんなこと、面と向かって言われたら困りますよね。
だから、こうして独り言するんです。

例えば、一方通行のものであったとしても、まぎれもない、嘘偽りのない気持ち。
ご主人様への想い、なんですから。

(SE: 衣擦れ音)

あっ…………ご主人様…………起きて…………。

…………ふふ、でも、面と向かって言えますね、これ。

(位置: 右耳 密着)

(演技: 囁きながら)

ご主人様…………。

愛しております。

(位置: 正面・密着)

永遠に、変わらぬ愛を誓います。

これからも、未永くよろしくお願い致しますね…………。

私の…………ご主人様…………♥

(SE: 頭を撫べる音 FO)